

3

スポーツクラブ・運動部

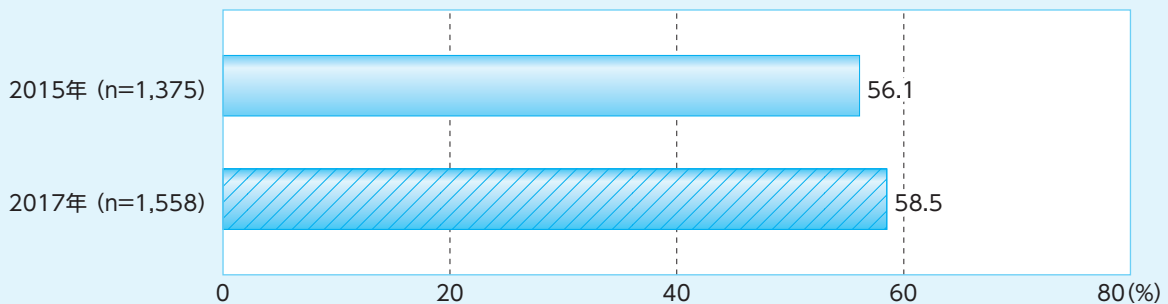
3-1 スポーツクラブ・運動部への加入状況

学校の運動部やサークル、民間のスポーツクラブ（スイミングクラブや体操クラブなど）、地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など）への加入状況を複数回答でたずね、加入率を算出した。

図3-1に示した4～11歳のスポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移をみると、2017年調査では加入率は58.5%であり、前回調査から2.4ポイントの増加がみられた。図3-2の12～21歳では、加入率は49.2%であり、前回調査から5.6ポイントの減少となった。調査を開始した2001年以降、4～5割の間での推移が続いている。なお、2013年調査までは、今回の調査で用いた設問方式

とは異なり、クラブの加入状況を「入っている」「前に入っていたが、今は入っていない」「これまでに入ったことはない」の3つの選択肢で回答を求め、加入率を算出している。また、2011年が他の調査年と比べて加入率が低くなっている点については、東日本大震災の影響を考慮し、調査を9月から10月にかけて実施したため、夏休み後の運動部活動の引退などが影響したと思われる。

性別にみると、図3-3の4～11歳では加入率は男子65.3%、女子50.6%であり、男子が女子を約15ポイント上回っている。2015年と比較すると、男女ともにやや増加の傾向を示している。

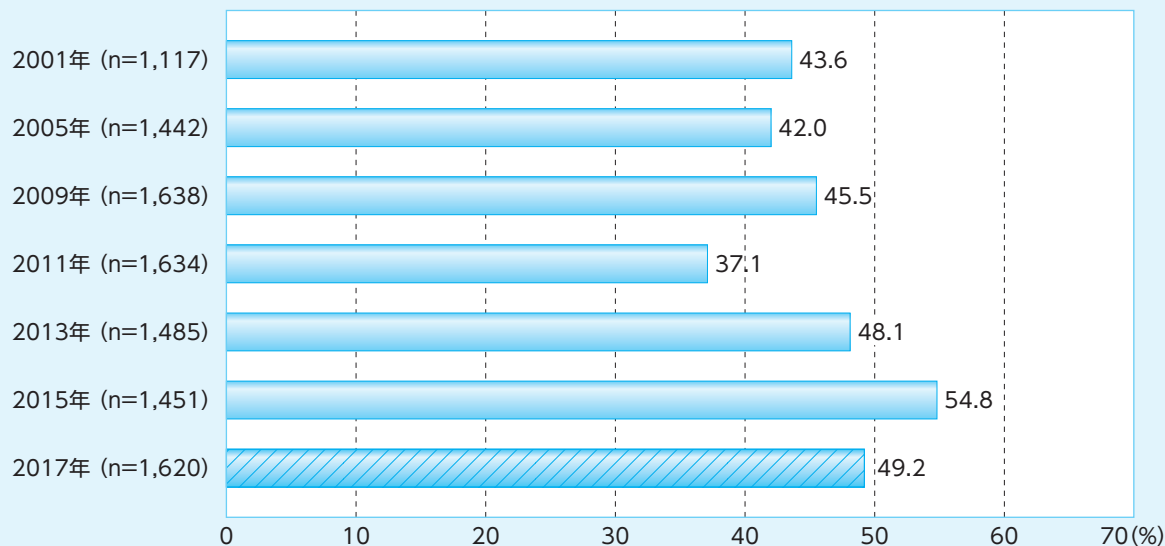


【図3-1】スポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移（4～11歳）

注1) 学校のクラブ活動や運動部活動、民間のスポーツクラブ（スイミングクラブや体操クラブなど）、地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など）を含む

注2) 2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」より10歳・11歳のデータを追加して算出

資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2017

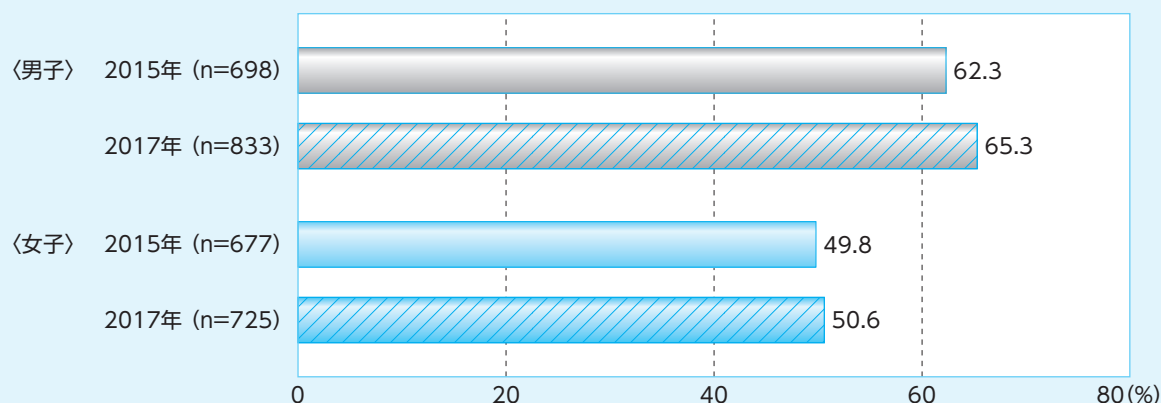


【図3-2】スポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移(12～21歳)

注1) 学校の運動部活動やサークル、民間のスポーツクラブ(スイミングクラブや体操クラブなど)、地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など)を含む

注2) 2001年～2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」の12～19歳を分析対象とした

資料: 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図3-3】スポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移(4～11歳:性別)

注1) 学校のクラブ活動や運動部活動、民間のスポーツクラブ(スイミングクラブや体操クラブなど)、地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など)を含む

注2) 2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」より10歳・11歳のデータを追加して算出

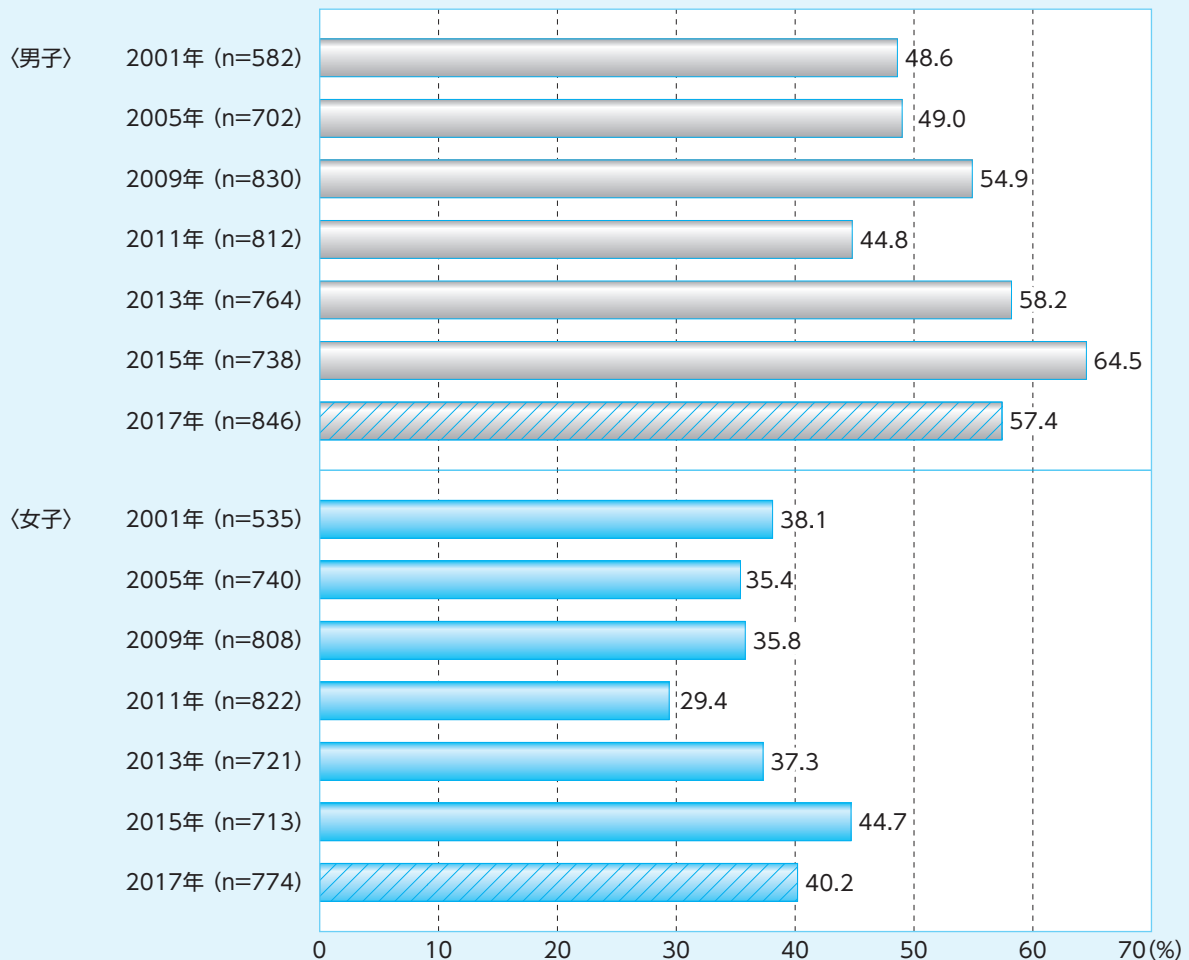
資料: 笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2017

図3-4に示す12~21歳では、加入率は男子57.4%、女子40.2%であり、男子が女子を17.2ポイント上回る。2001年以降、男子は5~6割、女子は4割程度の加入率であり、また男子の加入率が女子に比べて高い傾向は2001年から続いている。

表3-1には、性別・学校期別にスポーツクラブ・運動部への加入率を示した。今回の2017年調査をみると未就学児から中学校期にかけて男女ともに学年が上がるにつれて加入率は増加する。未就学児では男女ともに4割程度であるが、中学校期では男子の8割、女子の6割がスポーツクラブ・運動部に加入している。高校期になると、

男女ともに加入率は16~20ポイントほど減少し、大学期、勤労者ではさらに加入率は低くなる。

また、男女の加入率の差は高校期が最も大きく、男子が女子を24.8ポイント上回る。小学生以下の年代をみると、未就学児では2.5ポイントであるのに対して、小学1・2年では15.7ポイント、小学3・4年では17.2ポイント、小学5・6年では20.8ポイントと、学年が上がるにつれて男女差は拡大し、いずれも男子が女子を上回る。さまざまなスポーツに関わり始める時期である小学校期において、特に女子のスポーツの機会の充実が望まれる。



【図3-4】 スポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移(12~21歳:性別)

注1) 学校の運動部活動やサークル、民間のスポーツクラブ(スイミングクラブや体操クラブなど)、地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など)を含む

注2) 2001年~2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」の12~19歳を分析対象とした

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

【表3-1】スポーツクラブ・運動部への加入率の年次推移(性別×就学状況および学校期別)

男 子													
2001年		2005年		2009年		2011年		2013年		2015年		2017年	
学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未就学児 (n=151)	33.1	未就学児 (n=160)	41.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	小学1・2年 (n=202)	61.9	小学1・2年 (n=174)	60.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	小学3・4年 (n=218)	72.5	小学3・4年 (n=218)	72.9
小学5・6年 (n=119)	73.1	小学5・6年 (n=187)	70.1	小学5・6年 (n=195)	79.5	小学5・6年 (n=192)	64.1	小学5・6年 (n=216)	72.2	小学5・6年 (n=157)	81.5	小学5・6年 (n=270)	77.4
中学校期 (n=212)	65.6	中学校期 (n=276)	67.8	中学校期 (n=322)	73.9	中学校期 (n=292)	57.2	中学校期 (n=305)	77.0	中学校期 (n=281)	82.9	中学校期 (n=298)	81.2
高校期 (n=244)	39.3	高校期 (n=271)	43.2	高校期 (n=309)	46.9	高校期 (n=315)	41.6	高校期 (n=273)	54.9	高校期 (n=274)	60.2	高校期 (n=239)	64.9
大学期 (n=54)	31.5	大学期 (n=81)	33.3	大学期 (n=99)	43.4	大学期 (n=117)	30.8	大学期 (n=86)	37.2	大学期 (n=93)	43.0	大学期 (n=176)	39.8
勤労者 (n=36)	8.3	勤労者 (n=38)	2.6	勤労者 (n=51)	17.6	勤労者 (n=45)	17.8	勤労者 (n=50)	10.0	勤労者 (n=40)	22.5	勤労者 (n=116)	15.5

女 子													
2001年		2005年		2009年		2011年		2013年		2015年		2017年	
学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%	学校期	%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未就学児 (n=136)	32.4	未就学児 (n=139)	38.8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	小学1・2年 (n=176)	47.7	小学1・2年 (n=148)	44.6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	小学3・4年 (n=234)	55.1	小学3・4年 (n=194)	55.7
小学5・6年 (n=123)	50.4	小学5・6年 (n=179)	49.7	小学5・6年 (n=215)	55.3	小学5・6年 (n=180)	46.1	小学5・6年 (n=171)	48.0	小学5・6年 (n=150)	62.7	小学5・6年 (n=242)	56.6
中学校期 (n=190)	51.1	中学校期 (n=295)	50.2	中学校期 (n=303)	48.8	中学校期 (n=299)	37.8	中学校期 (n=271)	46.5	中学校期 (n=233)	64.4	中学校期 (n=239)	63.6
高校期 (n=230)	31.7	高校期 (n=284)	29.6	高校期 (n=291)	25.8	高校期 (n=320)	25.6	高校期 (n=276)	37.3	高校期 (n=259)	41.7	高校期 (n=237)	40.1
大学期 (n=51)	23.5	大学期 (n=85)	16.5	大学期 (n=124)	33.1	大学期 (n=118)	25.4	大学期 (n=112)	23.2	大学期 (n=134)	29.1	大学期 (n=184)	29.9
勤労者 (n=28)	3.6	勤労者 (n=32)	6.3	勤労者 (n=39)	7.7	勤労者 (n=38)	10.5	勤労者 (n=34)	2.9	勤労者 (n=49)	12.2	勤労者 (n=90)	8.9

注1) 学校のクラブ活動や運動部活動・サークル、民間のスポーツクラブ(スイミングクラブや体操クラブなど)、地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など)を含む

注2) 大学期・勤労者:2001年~2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」の19歳までを分析対象とした

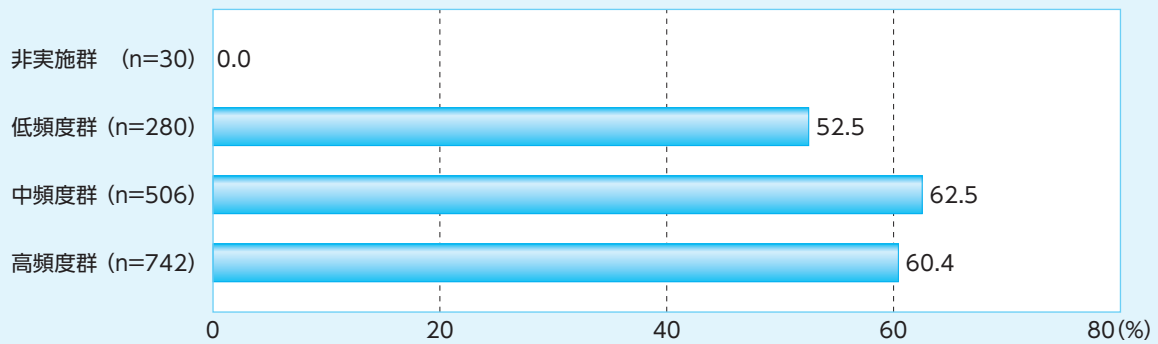
資料: 笹川スポーツ財団「4~11歳のスポーツライフに関する調査」2017、「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

図3-5と図3-6は、運動・スポーツ実施状況別にスポーツクラブ・運動部への加入率を示したものである。図3-5の4～11歳では実施頻度群別、図3-6の12～21歳では実施レベル別に示した。

4～11歳では、中頻度群が62.5%と最も高く、次いで高頻度群60.4%、低頻度群52.5%であった。

12～21歳では「レベル0」0.7%、「レベル1」10.9%、「レベル2」43.5%、「レベル3」67.2%、「レベル4」91.9%

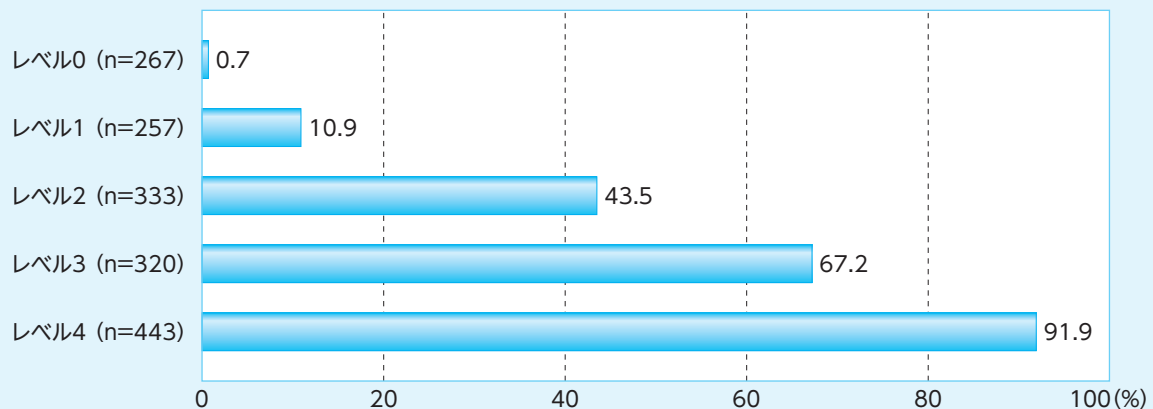
であり、レベルが上がるにつれて加入率は増加する。週5回以上の運動・スポーツ実施者となる「レベル3」では加入者は半数以上、週5回以上・1回120分以上・運動強度が「ややきつい」以上の3つの条件を満たす高水準のスポーツ実施者（レベル4）では、加入者は9割を占めており、中学生から大学生年代の青少年にとってスポーツクラブや運動部は主な運動・スポーツの場となっている。



【図3-5】スポーツクラブ・運動部への加入率（4～11歳：頻度群別）

注) 学校のクラブ活動や運動部活動、民間のスポーツクラブ（スイミングクラブや体操クラブなど）、地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など）を含む

資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図3-6】スポーツクラブ・運動部への加入率（12～21歳：レベル別）

注) 学校の運動部活動やサークル、民間のスポーツクラブ（スイミングクラブや体操クラブなど）、地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や地域のスポーツ教室など）を含む

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017

3-2 加入しているスポーツクラブ・運動部の種類

加入しているスポーツクラブ・運動部の種類を複数回答でたずねた。表3-2に示す4～11歳では「民間のスポーツクラブ（スイミングクラブや体操クラブなど）」（以下、民間のスポーツクラブ）が35.1%と最も多く、次いで「地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や地域のスポーツ教室、道場など）」（以下、地域のスポーツクラブ）20.5%、「学校のクラブ活動・運動部活動」（以下、学校のクラブ・運動部）は13.0%であった。

性別にみると、男女ともに「民間のスポーツクラブ」が最も多く、男子38.3%、女子31.4%であり、次いで「地域のスポーツクラブ」（男子26.5%、女子13.5%）であった。

就学状況別にみると「民間のスポーツクラブ」は、小学3・4年（40.8%）で最も多く、次いで小学1・2年（38.2%）、未就学児（32.1%）、小学5・6年（30.1%）の順であった。「地域のスポーツクラブ」は、未就学児は5.7%、小学1・2年は16.1%、小学3・4年は25.2%、小学5・6年は28.5%と学年が上がるにつれて加入率は増加する。未就学児・小学校低学年では民間のスポーツクラブが主な加入先となるが、小学校中学年になると地域のスポーツクラブや学校のクラブ・運動部での活動も加わる。

図3-7に示す12～21歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類をみると、全体では「学校の運動部活

動」が39.0%と最も多く、次いで「民間のスポーツクラブ」5.0%、「地域のスポーツクラブ」4.8%であった。

性別にみると「学校の運動部活動」は男子47.2%、女子30.0%であり、男子が女子を17.2ポイント上回る。「地域のスポーツクラブ」も同様に男子が女子を上回るが（男子6.3%、女子3.1%）、「民間のスポーツクラブ」は男子4.6%、女子5.4%であり、女子が男子を上回っている。

表3-3に示す性別・学校期別にみると、中学校期・高校期では「学校の運動部活動」が男女ともに最も多い。中学校期では男子74.2%、女子55.2%、高校期では男子60.7%、女子35.4%であり、地域や民間のスポーツクラブでの実施率は低い。大学期では、男子は「学校の運動部活動」（18.2%）が最も多く、次いで「学校のスポーツサークル」（17.6%）、女子は「学校のスポーツサークル」（17.4%）、次いで「学校の運動部活動」（8.7%）であった。中学校期から大学期にかけては活動の中心は学校である。

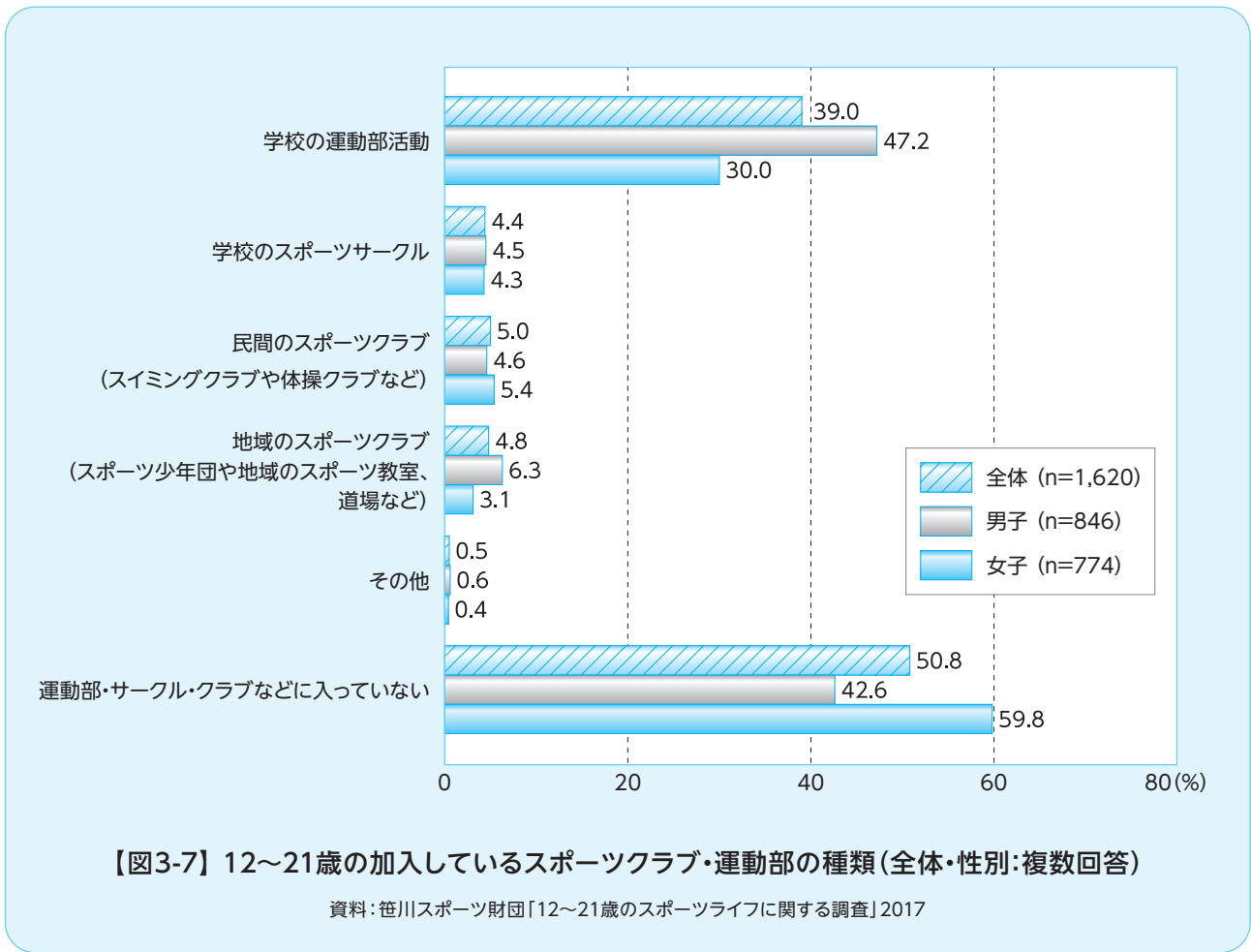
表3-4には、性別・運動・スポーツ実施レベル別に示した。「学校の運動部活動」は、男女ともレベルが上がるほど加入率が高く、「レベル4」では男子86.8%、女子89.0%であった。学校の運動部活動は、中学生から大学生年代における高水準なスポーツ実施の機会である。

【表3-2】 4～11歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類（全体・性別・就学状況別：複数回答）

(%)

スポーツクラブ・運動部	全体 (n=1,558)	男子 (n=833)	女子 (n=725)	未就学児 (n=299)	小学1・2年 (n=322)	小学3・4年 (n=412)	小学5・6年 (n=512)
学校のクラブ活動・運動部活動	13.0	14.2	11.6	2.3	2.5	13.6	25.4
民間のスポーツクラブ (スイミングクラブや体操クラブなど)	35.1	38.3	31.4	32.1	38.2	40.8	30.1
地域のスポーツクラブ (スポーツ少年団や地域のスポーツ教室、道場など)	20.5	26.5	13.5	5.7	16.1	25.2	28.5
その他	0.7	0.6	0.8	1.0	1.6	0.0	0.6
運動部・クラブなどに入っていない	41.5	34.7	49.4	59.9	46.9	35.2	32.4

資料：笹川スポーツ財団「4～11歳のスポーツライフに関する調査」2017



【表3-3】 12～21歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類(性別×学校期別:複数回答) (%)

スポーツクラブ・運動部	男子				女子			
	中学校期 (n=298)	高校期 (n=239)	大学期 (n=176)	勤労者 (n=116)	中学校期 (n=239)	高校期 (n=237)	大学期 (n=184)	勤労者 (n=90)
学校の運動部活動	74.2	60.7	18.2	0.0	55.2	35.4	8.7	0.0
学校のスポーツサークル	1.3	1.3	17.6	0.0	0.4	0.0	17.4	0.0
民間のスポーツクラブ (スイミングクラブや体操クラブなど)	8.7	2.1	1.1	5.2	9.2	4.2	2.2	6.7
地域のスポーツクラブ (スポーツ少年団や地域のスポーツ教室、道場など)	10.1	3.8	3.4	6.9	5.9	2.1	1.1	2.2
その他	0.0	0.0	0.6	3.4	0.4	0.0	1.1	0.0
運動部・サークル・クラブなどに入っていない	18.8	35.1	60.2	84.5	36.4	59.9	70.1	91.1

資料: 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017

【表3-4】 12～21歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類(性別×レベル別:複数回答)

(%)

スポーツクラブ・運動部	男子				女子			
	レベル1 (n=115)	レベル2 (n=163)	レベル3 (n=177)	レベル4 (n=288)	レベル1 (n=142)	レベル2 (n=170)	レベル3 (n=143)	レベル4 (n=155)
学校の運動部活動	1.7	20.9	63.8	86.8	1.4	17.6	42.7	89.0
学校のスポーツサークル	7.0	12.3	1.7	2.4	5.6	9.4	4.9	0.6
民間のスポーツクラブ (スイミングクラブや体操クラブなど)	0.9	6.1	9.0	4.2	0.0	11.2	9.8	5.8
地域のスポーツクラブ (スポーツ少年団や地域のスポーツ教室、道場など)	3.5	7.4	10.7	6.3	2.1	2.9	4.2	6.5
その他	0.9	2.5	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
運動部・サークル・クラブなどに入っていない	87.0	54.0	25.4	8.3	90.8	58.8	42.0	7.7

資料: 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017

3-3 中学校期・高校期における学校運動部活動の状況

12～21歳の「学校の運動部活動に加入している」と回答した者を対象に、運動部活動の活動状況についてたずねた。

表3-5には、所属している運動部活動の種目を学校期別(中学校期・高校期)に示した。中学校期では「ソフトテニス(軟式)」(14.7%)が最も多く、次いで「バスケットボール」(14.4%)、「サッカー」(12.7%)、「野球」(11.9%)

であった。高校期では「バドミントン」(11.4%)が最も多く、「バスケットボール」(10.5%)、「バレーボール」と「野球」(同率10.0%)が続く。

図3-8に示す週あたりの活動日数は、中学校期、高校期いずれも「週6日」が最も多く、中学校期48.1%、高校期51.1%であった。次いで、中学校期は「週5日」(22.8%)、高校期は「週7日」(26.2%)が続く。中学校期、高校期

【表3-5】 所属している運動部活動の種目(学校期別)

中学校期 (n=353)			高校期 (n=229)		
順位	実施種目	実施率(%)	順位	実施種目	実施率(%)
1	ソフトテニス(軟式)	14.7	1	バドミントン	11.4
2	バスケットボール	14.4	2	バスケットボール	10.5
3	サッカー	12.7	3	バレーボール	10.0
4	野球	11.9		野球	10.0
5	卓球	9.9	5	サッカー	9.6
	バレーボール	9.9	6	ソフトテニス(軟式)	7.0
7	陸上競技	8.8	7	テニス(硬式)	4.8
8	バドミントン	5.7		ハンドボール	4.8
9	剣道	4.2	9	陸上競技	4.4
10	柔道	1.7	10	剣道	3.9

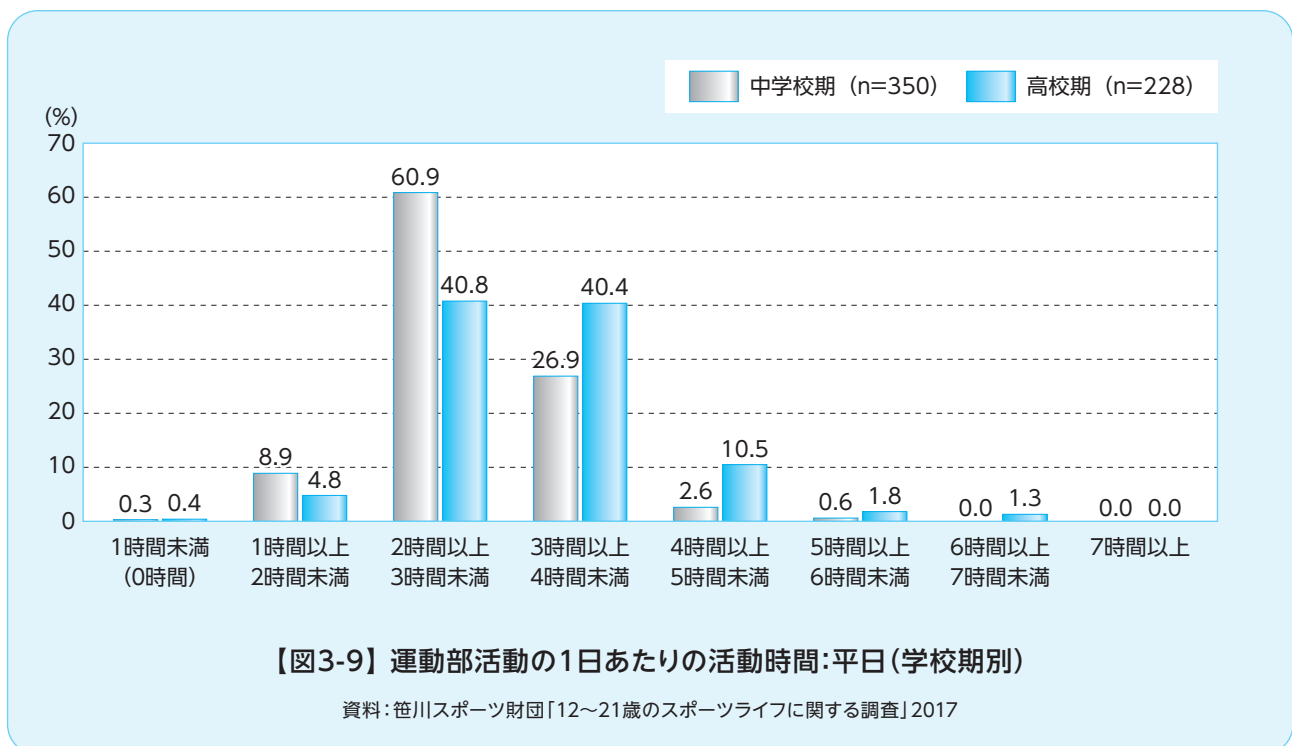
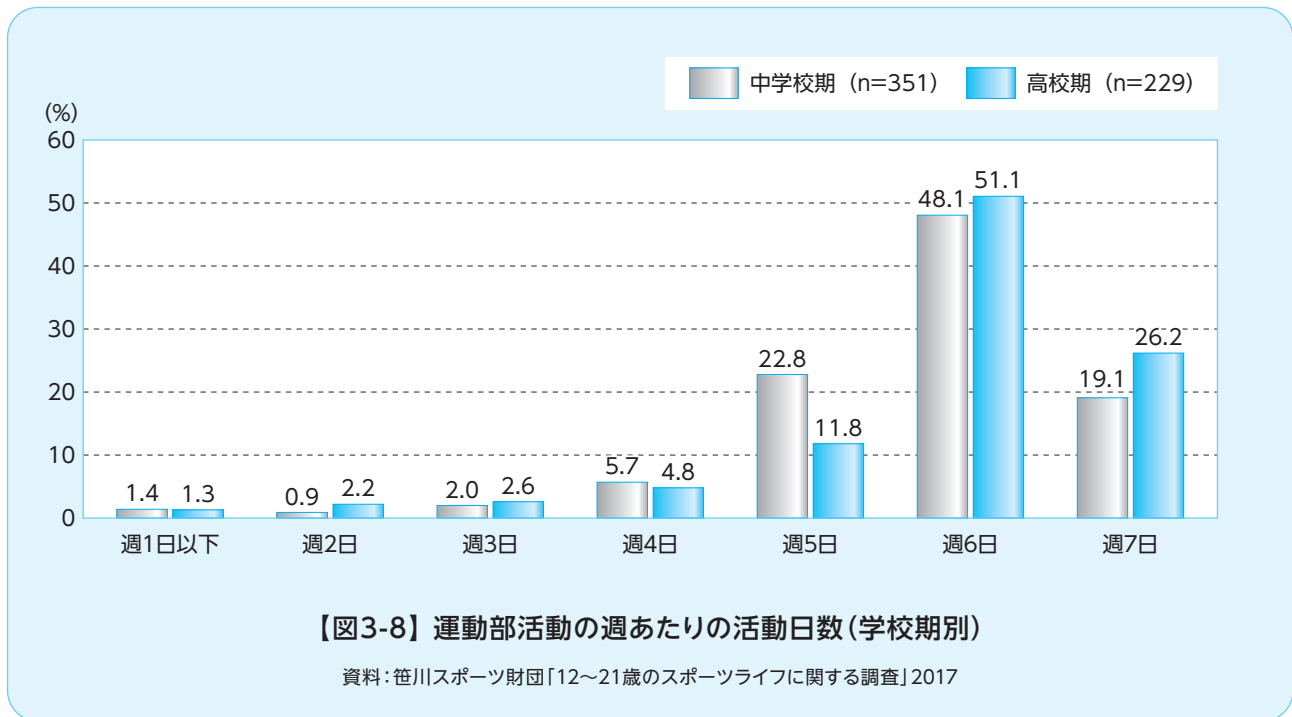
資料: 笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017

では9割が週5日以上の活動をしている。

図3-9に示す1日あたりの活動時間をみると、平日の場合、中学校期は「2時間以上3時間未満」が60.9%と最も多く、次いで「3時間以上4時間未満」(26.9%)であった。高校期も中学校期と同様に「2時間以上3時間未満」(40.8%)が最も多く、次いで「3時間以上4時間未満」

(40.4%)が続いた。

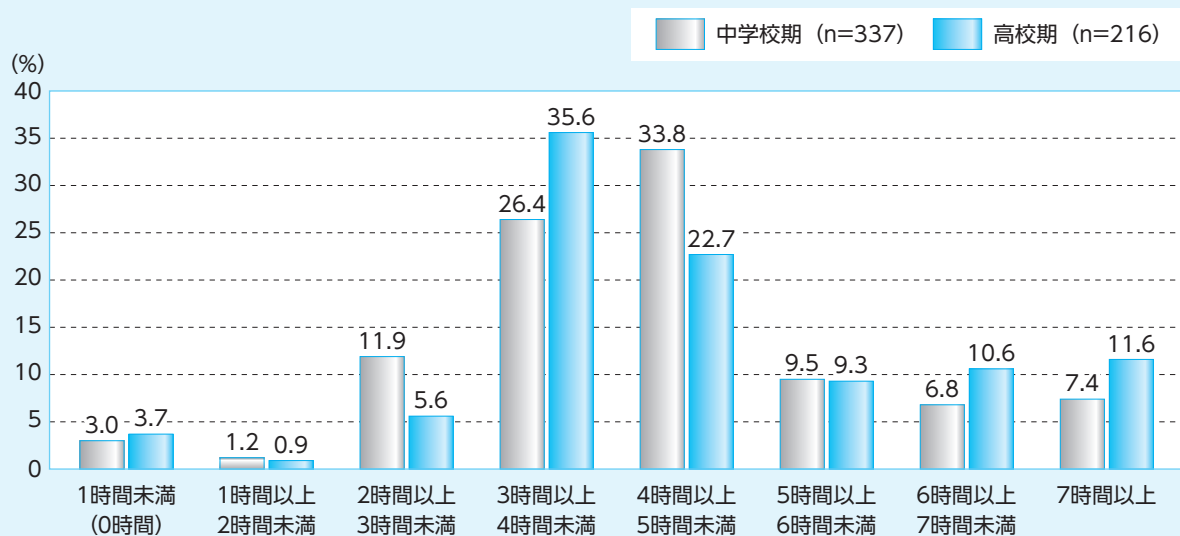
図3-10には、土日における1日あたりの活動時間を示した。中学校期は「4時間以上5時間未満」(33.8%)が最も多く、次いで「3時間以上4時間未満」(26.4%)であった。高校期は「3時間以上4時間未満」(35.6%)が最も多く、次いで「4時間以上5時間未満」(22.7%)であった。



平日の活動時間は2時間くらいから4時間くらいまでが多いのに比べて、土日の活動時間は2時間くらいから7時間以上まで幅広く分布している。長時間の運動部活動は中学校期に比べて高校期に多くみられ、高校生の2割が土日に6時間以上の活動を行っている。

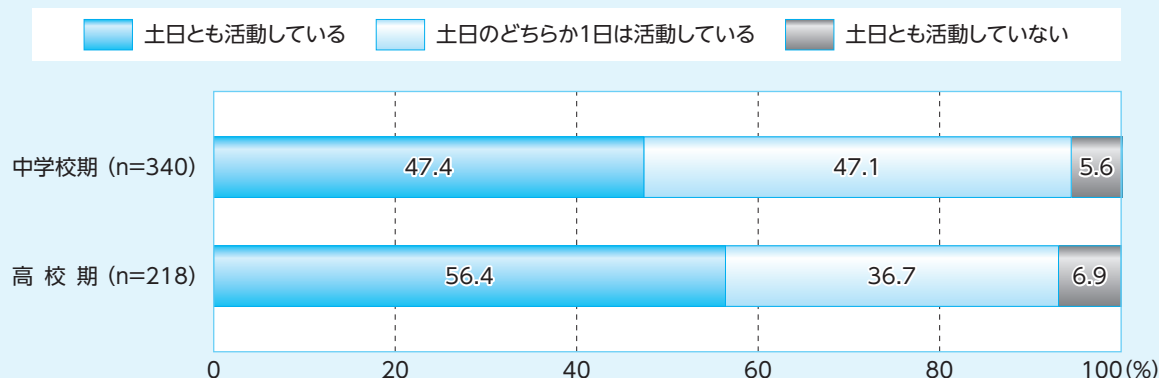
図3-11には、運動部活動の土日の活動状況を示した。

中学校期・高校期のいずれも「土日とも活動している」が約半数を占めていた(中学校期47.4%、高校期56.4%)。「土日のどちらか1日は活動している」は、中学校期47.1%、高校期36.7%であり「土日とも活動している」と回答した者の割合を合わせると運動部に入っている中高生の9割が土曜日や日曜日にも部活動を行っていた。



【図3-10】運動部活動の1日あたりの活動時間:土日(学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



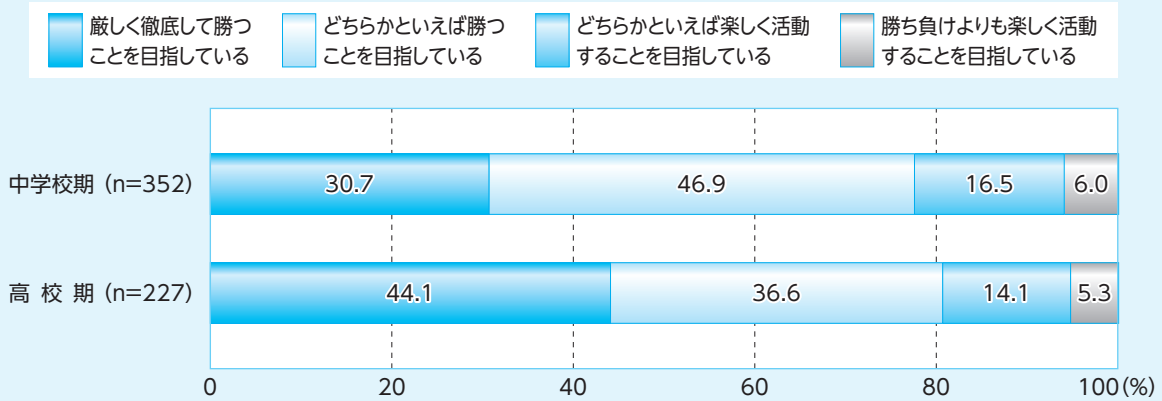
【図3-11】運動部活動の土日の活動状況(学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

現在所属している運動部の目標・志向として「あなたの所属している運動部は何を目指して活動していると思いますか」とたずねた。図3-12に示す中学校期は「どちらかといえば勝つことを目指している」(46.9%)が最も多く、次いで「厳しく徹底して勝つことを目指している」(30.7%)であった。高校期は「厳しく徹底して勝つことを目指している」(44.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえば勝つことを目指している」(36.6%)であった。中学校期・高校期のいずれも運動部の8割がどちらかという楽しく活動することより勝つことを目指して活動している状況がわかる。

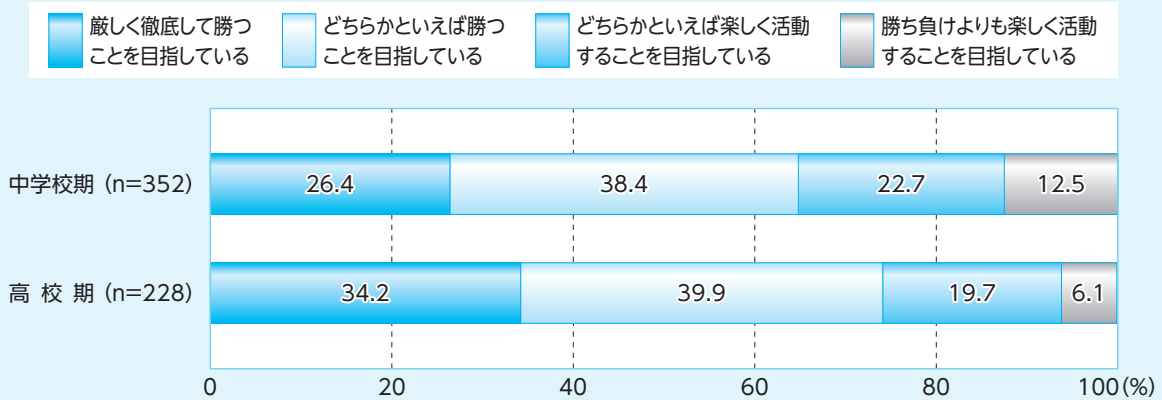
次に、運動部活動に対する自分自身の目標・志向として「あなた自身は運動部で何を目指して活動していますか」

とたずねた。図3-13に示す中学校期と高校期のいずれも「どちらかといえば勝つことを目指している」(中学校期38.4%、高校期39.9%)が最も多く、次いで「厳しく徹底して勝つことを目指している」(中学校期26.4%、高校期34.2%)であった。「どちらかといえば楽しく活動することを目指している」と「勝ち負けよりも楽しく活動することを目指している」を足し合わせた『楽しさ』を重視する割合について、図3-12の所属している運動部と図3-13の自分自身の目標・志向を比較すると、自分自身の目標・志向の方が楽しく活動することを目指している割合は高く、その差は中学校期で12.7ポイント、高校期では6.4ポイントであった。特に中学生において部と本人の目標・志向に違いがみられる。



【図3-12】 所属している運動部の目標・志向(学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



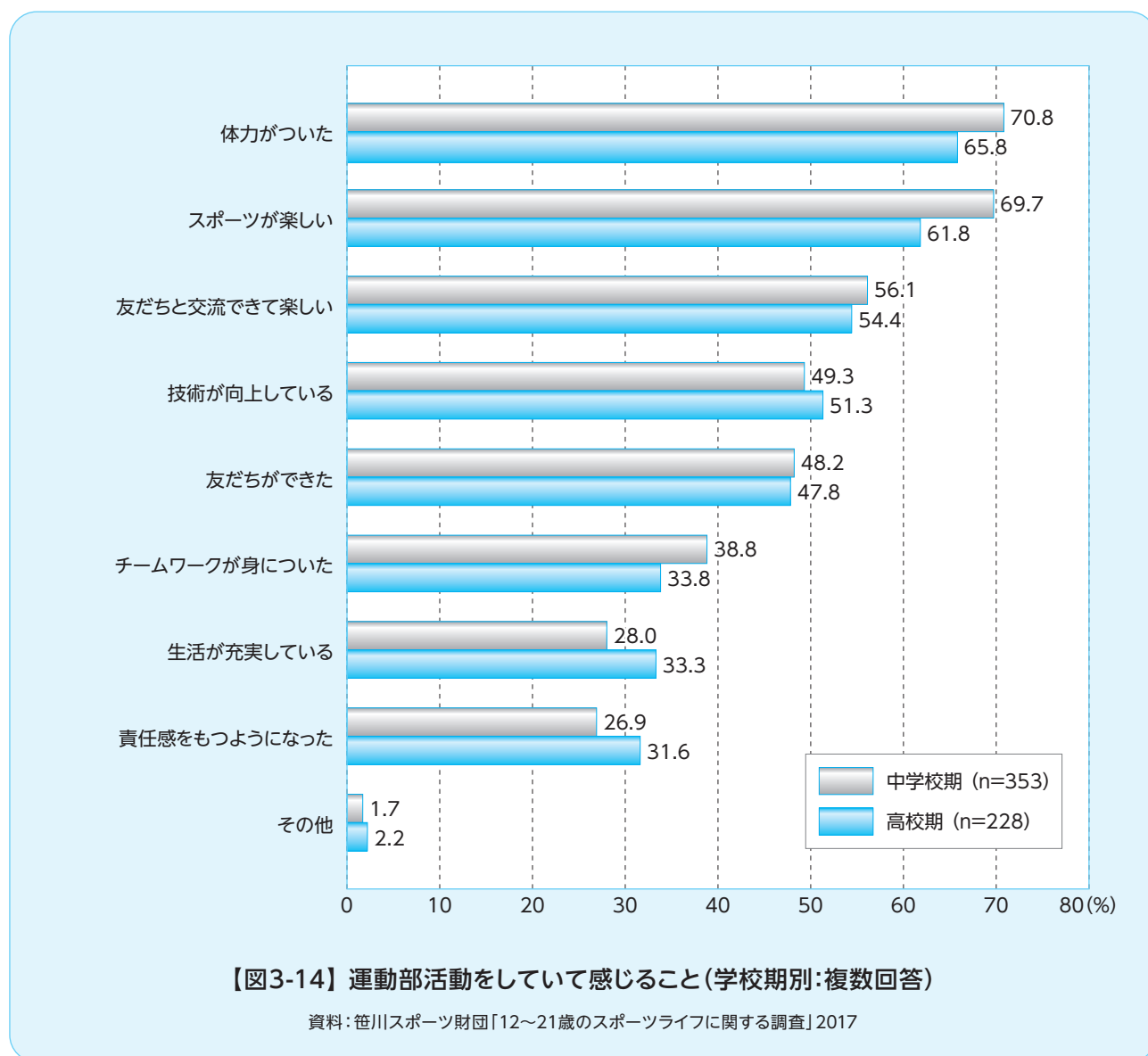
【図3-13】 運動部活動に対する自分自身の目標・志向(学校期別)

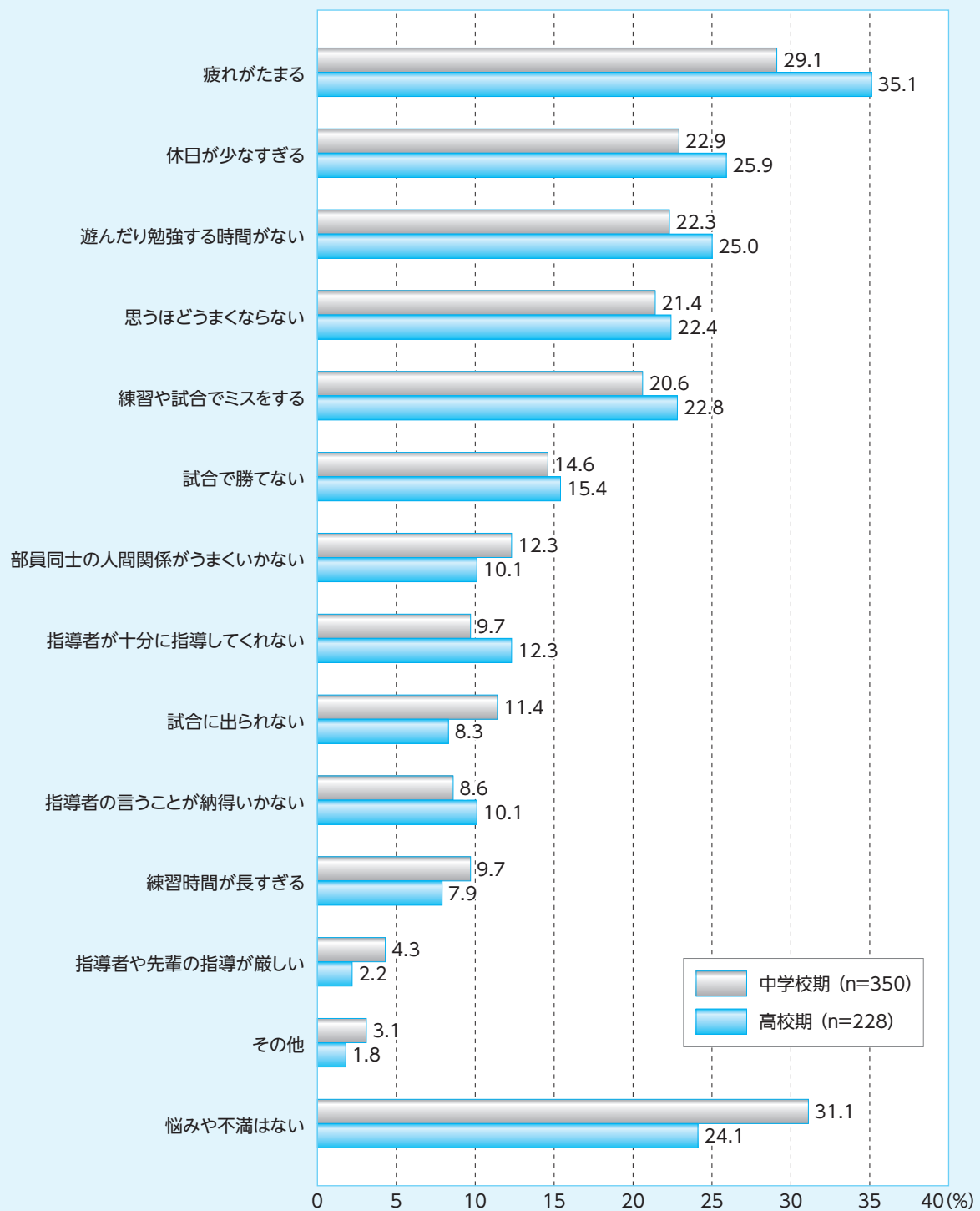
資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

運動部活動をしていて感じることを複数回答でたずね、その結果を図3-14に示した。中学校期・高校期ともに「体力がついた」(中学校期70.8%、高校期65.8%)が最も多く、次いで「スポーツが楽しい」(中学校期69.7%、高校期61.8%)、「友だちと交流できて楽しい」(中学校期56.1%、高校期54.4%)、「技術が向上している」(中学校期49.3%、高校期51.3%)、「友だちができた」(中学校期48.2%、高校期47.8%)であった。

運動部活動に関する悩みや不満を複数回答でたずねた。図3-15に示すように、中学校期は「悩みや不満はない」(31.1%)が最も多かった。中学校期であげられた悩

みや不満としては「疲れがたまる」が29.1%で最も多く、次いで「休日が少なすぎる」(22.9%)、「遊んだり勉強する時間がない」(22.3%)、「思うほどうまくならない」(21.4%)であった。高校期では「疲れがたまる」(35.1%)が最も多く、「休日が少なすぎる」(25.9%)、「遊んだり勉強する時間がない」(25.0%)、「練習や試合でミスをする」(22.8%)が続いた。「悩みや不満はない」の割合は24.1%で、中学校期よりも少ない。疲労感や活動の多さ、技術的な面など、中学生・高校生ともに過半数以上が何らかの不満や悩みを持っている。





【図3-15】 運動部活動の悩みや不満(学校期別:複数回答)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017